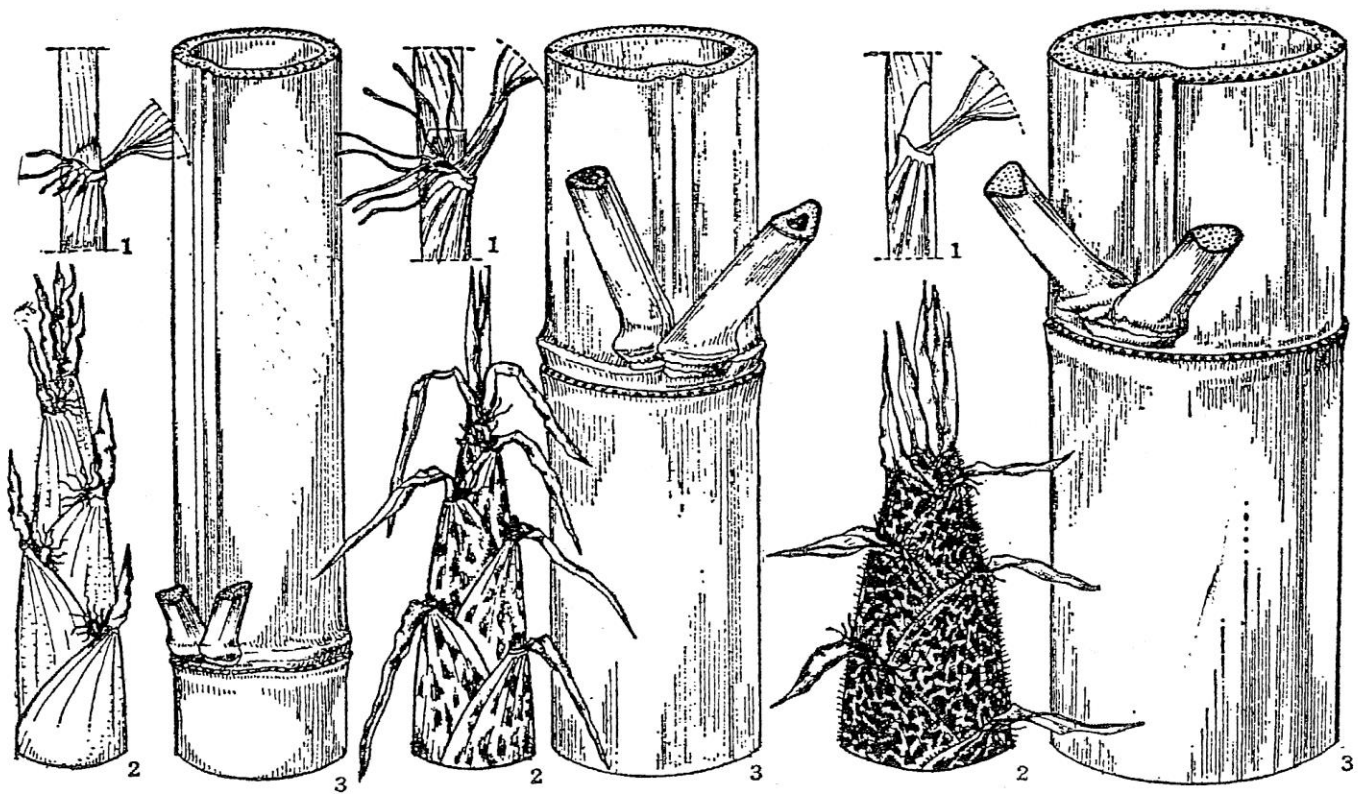


愛知川河畔林整備 ボランティア

1. タケノコの皮模様（豆知識）
2. 山菜を食べてみよう
3. 愛知川の野草を食べてみよう
4. 毒草について
5. ボランティア活動（総括）

○タケノコの皮の模様で竹を見分けよう



日本の有用竹 ハチク(左) マダケ(中) モウソウチク(右) 1は小舌 2は筍 3は稈と枝

	タケノコの皮の模様	節	枝の中
ハチク	無紋	2重	つまっている
マダケ	斑紋状	2重	中空
モウソウチク	斑紋状 (斑紋が多い)	1重	つまっている

○山菜を食べてみよう

ミツバ、イラクサ、ミヤマイラクサ、ミズナ (ウワバミソウ)、クズ、セイタカアワダチソウ、セリ、ドクダミ、ダイコンソウ、ツユクサ、アザミなど



1 全形 2 根、葉がよちよちと茂る
3 根元、葉の裏の葉脈が少くない

ミズナ
Elaeostema involucratum Franch. et Sav.

フユクサ
Commelina communis L.

アザミ
Cirsium

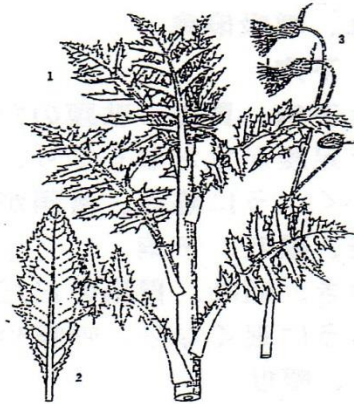
* 毒草に注意

マムシグサ、ホウチャクソウ、キツリフネ、ソクズ、イヌホオズキ、タケニグサ、ヒヨドリジョウゴなど。

愛知川の野草を食べてみよう

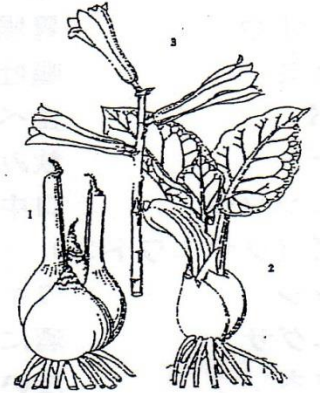
◆食べられる野草

- アザミ
- イタドリ
- イラクサ
- ウシハコベ
- ウバユリ
- ウワバミソウ (ミズナ)
- エノキ
- オオバコ
- オドリコソウ
- カラシナ
- ギシギシ
- ギボウシ (キヨスミギボウシ)
- クサソテツ (コゴミ)
- クズ
- コンロンソウ
- シロツメクサ
- シロネ
- セイタカアワダチソウ
- セリ
- タンポポ
- ダイコンソウ
- タニギキョウ
- ツボスミレ
- ツユクサ
- ドクダミ
- ニセアカシア
- ノコンギク
- ノブキ
- ミツバ
- ミヨウガ
- ムカゴイラクサ
- ヤブガラシ (*)
- ヤブニンジン
- ヤマウコギ
- ワサビ



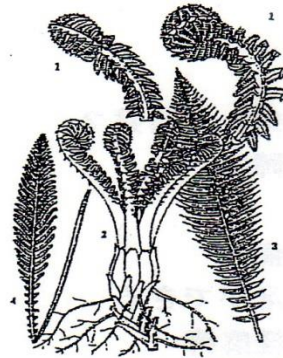
1 葉子 2 葉の形(葉に切れ込みが少ない) 3 花

アザミ *Cirsium*



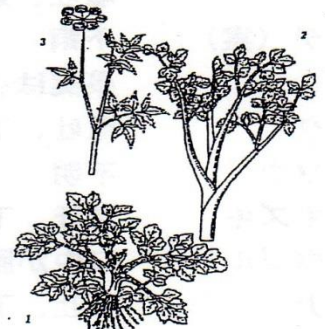
1 根の形 2 葉の全体 3 花

ウバユリ
Cardiocrinum cordatum Makino



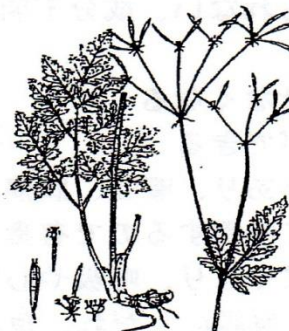
1 葉子 2 葉の形(葉の形が丸い) 3 根の形 4 葉子

クサソテツ
Matteuccia struthiopteris Tataro



1 花の形 2 花の中心部分

セリ
Oenanthe stolonifera DC.



ヤブニンジン



1 葉子 2 花

ノコンギク
Aster agrippoides Turcz. var. ovata Nakai

タケノコ掘り後の皮むき、あく抜き、カット
皮むき風景です。

（この作業は河畔の橋の下で行います）

一人で15本が目標です。包丁とバケツ、ゴミ袋
を持参願います。

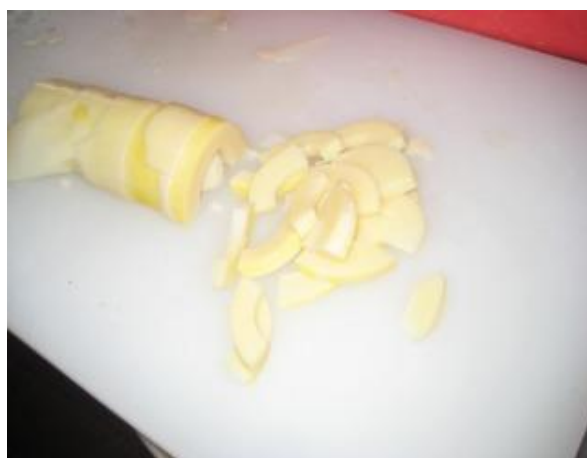


剥き方（包丁の根元を差し込み、徐々に強く差し込む）
そのあとで皮をはぐように剥く

あく抜き（ぬかなし）



タケノコご飯サイズ



てんぷらサイズ



◆毒草（注意しよう）

イヌホオズキ	嘔吐、腹痛
ウマノアシガタ	口中が焼けつくように痛み、胃腸がただれ、血便が出る
エゴノキ	食道や胃の粘膜のただれ
オモト	呼吸麻痺、運動麻痺、痙攣
キツタ	嘔吐や粘膜のただれ
キツネノボタン	口中がやけつくように痛み、胃腸がただれ血便が出る
キツリフネ	嘔吐
クサノオウ	胃腸のただれ、呼吸麻痺
コマユミ	嘔吐、腹痛、下痢
スイバ	食べ過ぎると下痢、胃腸の粘膜のただれ
スギナ	飲みすぎると足腰が立たなくなり、血尿を出す
センニンソウ	口中がやけつくように痛み、胃腸がただれ血便
ソクズ（クサニワトコ）	胃腸炎、嘔吐、下痢
タガラシ	口中がやけつき、嘔吐、胃腸のただれ、下痢
タケニグサ	酒に酔ったように眠くなり、呼吸や心臓麻痺
ツリフネソウ	たいへん苦く、嘔吐
テイカカズラ	呼吸、心臓麻痺（キョウチクトウに似た毒がある）
ドクゼリ	嘔吐、腹痛、下痢、激しい痙攣、意識不明、呼吸麻痺
ナンテン	神経、呼吸麻痺
ニリンソウ	胃や腸のただれ
ネジキ	嘔吐、運動麻痺
ネズミモチ（実）	下痢
ノイバラ	果実は有毒（下痢） 若葉？
ノボロギク	嘔吐、下痢、肝障害
ハエドクソウ	不明
ハダカホオズキ	発汗、下痢、腹痛
ハンショウヅル	口中が腫れ、水泡ができる
ヒガンバナ	嘔吐、下痢、神経麻痺
ヒメウズ	トリカブトに似た毒
ヒメエンゴサク	嘔吐、腹痛、下痢
ヒヨドリジョウゴ	嘔吐、腹痛、呼吸麻痺
ヘクソカズラ	不明
ホウチャクソウ	臭いが強くて食べられない、成分不明
ホオズキ	呼吸麻痺
ホオノキ（樹皮）	骨格筋が麻痺し動けなくなる
ボタンヅル	口中が腫れ、水泡ができる
マムシグサ	口に含むと灼熱感があり、嘔吐、腹痛
ミソナオシ	葉はうじ殺しとして使用するのので有毒
ムラサキケマン	酒に酔ったように眠くなり、呼吸や心臓麻痺
ヤツデ	嘔吐、腹痛、下痢、胃腸のただれ。魚毒。
ヤブタバコ	不明
ヤマアイ	胃腸炎、腎臓炎、腹痛、出血性下痢、血尿
ユズリハ	麻痺
ヨウシュヤマゴボウ	嘔吐、下痢、麻痺



ドクゼリ
Cicuta virosa L.

1 茎葉の全形 2 花

—地下茎はよく竹のようになっている

滋賀県レイカディア大学事務局

宿久部長 殿

レイカディア大米原校サポート隊

隊長 藤居 忠治

(交流行事担当 山岡 勉)

愛知川河畔林整備ボランティア活動と

筍飯・野草天ぷら料理試食イベント行事について

みだしの作業結果は次のとおり報告します。

1 概要

当校としては、かねてより懸案であったみだしの河畔林整備について、今回2回目のボランティア行事として取り組んだものである。作業要領にあたっては、河畔林の会の指導により、レイカディア大サポート隊、同OB、在校生、一般市民など総計53名が整備作業にあたったが、天候も良好に持ち直し、全員が急病者や怪我もなく順調に進んだ。

2時間のボランティア活動の成果は、約300平方メートルであったが作業員は、竹藪は密集竹・枯れ竹・折れ竹などで殆ど見通しもない箇所を伐採、運搬など最悪の条件下にかかわらず全力を挙げて行い、苦労度は形容し難い状況下であった。

昼食は、「筍ご飯料理班」と「野草摘み、天ぷら料理班」が作った料理を全員が大喜びで食べ楽しいひと時を過ごした。

今回の交流行事推進業務について、東近江土木、河畔林の会から絶大な謝意を受けるとともに、参加者からも好印象を受けるなど大きな成果があった。(詳細は以下のとおり)

2 作業日時

平成26年6月18日(水)9:00~14:00

3 作業場所

東近江市能登川町阿弥陀堂地先、愛知川左岸河畔林(葉枝見橋下付近)

4 参加人員

53名 内訳(サポート隊17、レイカOB16、在校生16、草津校1、彦根住民3)

5 作業次第

- (1) 作業に先立ち藤居隊長、河畔林の会小林会長の挨拶に続き、河畔林の会関係者の指示説明を受けた。
- (2) 先ず、河畔林整備班、筍ご飯料理班、野草摘み取り天ぷら料理班に分け効率的な仕事の進展を図った。

- (3) 河畔林整備は、チェーンソー3台で密集竹、折れ(枯)竹、雑木等を切り取り採り、運搬役はこれを前広場まで順送りに持ち出した。
- (4) 後日、チップ業者の利便を考え、前広場に同一方向に株を揃えながら伐採し進めた。
- (5) 途中、休憩を入れ、間口約 30m×奥行 10m(約 300 m²)の整備を行った。
- (6) 作業は、11:30 に終了、後は全員が筍ご飯と7種類の野草天ぷらを試食した。
- (7) 後は、各種竹細工の実技を予定していたが希望者はなく、竹おもちゃの展示で終わった。
- (8) 12:30~14:00 リーダの終わりの挨拶後、各自は、筍の自由採取を実施、大変意義ある一日を満喫した。

6 今回の作業にあたり事前の準備状況

- (1) 打合せ
打ち合わせ 3 回と現地調査を1回実施し、河畔林の会の責任者との連携を強化した。
- (2) 案内ビラ、チラシの作製配布
 - 「愛知川河畔林のボランティア活動」に参加して筍と山野草料理を味わいませんか！
 - 愛知川のタケノコを食べよう！2種類を作成し、PR活動の手渡し資料としながら、「魅力ある交流行事」を展開した。

(3) 積極的なPR活動

OB各支部定期総会(2箇所)にチラシ等の配布とサポート隊各所属リーダ(5名)と、在校生に対する案内活動と結果報告の確認。

また、5月12日草津校で行われた「学生募集の合同打合せ会議場」でのPR活動、一般人に対しては、グランドゴルフ練習会場においてPR活動を行った。

7 その他

- (1) 今回の行事实施に当たり、社会福祉協議会に「ボランティア行事用保険」に加入し万全の態勢を取った。
- (2) 参加者から一金300円を徴収し、料理の材料費、保険代に充てた。
- (3) 心配していた天候も良好な日和となり、急病者や怪我人もなく最高の結果で終わった。
- (4) 会計報告
収入 (徴収金合計)15900 円+(サポート隊より)10,000 円=25,900 円
支出 材料購入費、保険加入費、お茶・茶菓子代等 21,479 円
差引 4,421 円はサポート隊会計に繰り入れ予定。(一覧表は領収書と共に後日提出)

8 反響及び今後の課題

今回のボランティア活動は、地元行政及び河畔林の会などから大きな反響を得た他、参加者からも好印象であったが、一過性のものと思われ、今後の継続性にあってはなお一層の創意工夫が必要と考える。